



きょうのテーマ

国連のSDGs（持続可能な開発目標）の一つ「すべての人に健康と福祉を」は、誰もが安心して暮らせる社会をつくるための目標です。今の日本では、人が減って医師が足りない地域があった



地球のためにできること

オンライン診療モデル

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

り、地震などの災害で避難した人たちの体調が悪くなったりと、みんなの健康を守るのが難しい場合があるんだ。通信技術を使って、このような課題の解決を目指す取り組みが始まっているよ。



そばに看護師受診も安心

看護師がいて、血圧や体温を測ってくれます。さらに、デジタルの聴診器で心臓の音を聞いたり、特別なカメラで皮膚の様子や口の中を見たりして、データや画像を医師に送ります。

医師は病院にいらながら、まるで目の前に患者がいるかのように、診察できるのです。会話は

大きく文字で表示されます。そばに看護師がいてくれるので、機械の使い方分からないお年寄りでも安心して受診できます。

この技術は、大きく分けて二つの場面で期待されています。一つ目は、医師が少ない地域です。東北では特に大きな問題

りが遠くの病院まで行かなくても、近くの郵便局や団地、会社などで診察を受けることができます。



二つ目は、災害が起きた時です。最近も7月に熊本地震、8月に千葉豪雨が発生し、たくさんの人が避難しました。

通信さえつながっていれば、避難所で医者さんに健康状態をチェックしてもらえます。避難生活のストレスや、元々あった病気が悪化して命を落としてしまう「災害関連死」を防ぐことにも役立ちそうです。

会社の役員である佐々木恵美子さんは「この仕組みを普段から使った地域で協力しておけば、いざというときの安心につながる」と話しています。普段も災害時も、分け隔てなく健康と命を守れるといいね。



過疎地や避難所で人々の健康を守るオンライン診療モデル

この日 何の日

◇13日（日） 世界の法の日

1965年のこの日、アメリカの首都ワシントンでの会議で、誰もが正式な法律以外に支配されないという考えを国際間で徹底させ、世界平和を確立しようという宣言が採択されたんだ。これを記念したんだ。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どき
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて話して こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 対訳備えのコンパス